

1 経営的特徴と導入方法

小ギクは、元来仏花用の花として消費されてきた。現在は、育種が進みスプレーギクとの区別が明確でなくなっているが、小ギクの場合、露地生産が多く、流通価格もスプレーギクを下回る。平成21年産における全国の栽培面積は1,682haであり、切り花類栽培面積の10%を占め、スプレーギクの約2倍となっている。

本県の小ギク栽培は、輪ギク・スプレーギクと組み合わせた栽培が多く、産地としてのロットが小さい。輪ギクと同様に、長期安定継続出荷の可能な産地づくりが必要である。

経営的には、輪ギクに比べ摘らい作業の時間が少なく、スプレーギクに比べると種苗費がかからないが、輪ギク・スプレーギクより高い単価は望めないため、低コスト化に努める必要がある。

表1 経営収支試算（10a当たり）

区 分	出荷量（本）	粗収益（円）	経営費（円）	所 得（円）	所得率（%）
小ギク（露地）	22,000	792,000	464,454	327,546	41.4
寒小ギク	14,310	573,300	363,736	209,564	36.6

(注) 1. 主要作物の技術・経営指標（平成22年3月・県農林水産部）、平成19年度生産費調査結果報告書（県農産園芸課）

2. 小ギク7月下旬～8月下旬出荷、寒小ギク12月上旬～1月中旬出荷

表2 10a当たり作業別、旬別所要労働時間（単位：時間）

① 作業別労働時間

項 目	時 間		項 目	時 間	
	小ギク	寒小ギク		小ギク	寒小ギク
苗床の準備	6.0	—	ネット張り・整枝・かん水等	22.0	14.6
冬至芽の伏せ込み	24.0	—	追 肥	3.0	1.5
育 苗	10.0	32.0	整枝・栽培管理	14.0	20.4
さ し 芽	58.0	—	除 草	35.0	9.7
移植・摘心	16.0	—	病虫害防除	38.0	19.4
基肥・施肥	6.0	3.0	収穫・出荷	210.3	169.8
耕起・砕土・畦立て	8.0	18.4	後片づけ・株管理・企画管理	32.0	29.5
定 植	48.0	25.5	合 計	530.3	343.8

② 10a当たり旬別所要労働時間（単位：時間）

月	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
小ギク	—	—	5.5	5	0.5	15	28	17	15	6	1	62	14	—	—	24	4	20
寒小ギク	3	9	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	16	6

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合計
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
6	22	58.6	80.9	65.7	13.1	—	34	—	—	8	12	12	—	0.5	—	0.5	—	530.3
19.5	12.5	1.5	21	20.6	8.2	3.7	12.2	2.2	2.9	2.2	2.2	3.6	0.7	—	38.3	63.7	76.3	343.8

(注) 1. 主要作物の技術・経営指標 (平成22年3月)、平成19年度生産費調査結果報告書

2. 出荷本数：小ギク22,000本/10a、寒小ギク14,310本/10a、—：調査項目なし

2 生理生態

輪ギクを参照にする。

3 作型と品種

小ギクは輪ギクの「岩の白扇」や「神馬」のような主力品種がないため、県内では一般的に日長処理による開花調節を行わず、品種を変えることにより開花期を変えている場合が多い。そこで、表3に近年流通量の多い品種を、表4以降に本県調査による露地栽培の作型での品種特性を示した。

表3 小ギクの品種別流通動向

(平成21年、日本花き取引コード普及促進協議会ほか)

順位	品 種 名	花 色 名	取 扱 数 量 (本)	占有率 (%)	単価 (円/本)
1	ツバサ	白	16,243,960	10.1	31
2	秋芳	黄・クリーム	9,664,090	6.0	31
3	沖の乙女	赤	8,753,250	5.4	33
4	金秀	黄・クリーム	6,365,835	3.9	32
5	花まつり	赤	2,148,050	1.3	31
6	太陽のくれない	赤	1,934,865	1.2	28
7	みやび	赤	1,638,475	1.0	34
8	太陽のかりゆし	黄・クリーム	1,414,710	0.9	29
9	スバル	黄・クリーム	1,335,808	0.8	38
10	せせらぎ	白	1,289,298	0.8	29
	その他		110,760,918	68.6	—
	合 計		161,549,259	100	—

(注) 協力卸売会社25社 (仙台生花(株)、(株)東日本板橋花き、(株)大田花き、ほか) 取扱の集計

表4 作型と品種

作 型	品 種	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小ギク(夏秋ギク) 露地旧盆出し栽培	むさし、いそべ、 よいこ、ななみ、 えりか、かおり			〇	〇	〇	〇				
小ギク(夏秋ギク) 露地秋彼岸出し栽培	つとむ、かじか、 このみ、花車、 祭典										
小ギク(秋ギク) 露地10月出し栽培	初雪、はやぶさ、 しののめ、 みのり、おきな、 映子、紅鳥、 芳香										
寒小ギク 施設12月出し栽培	雪月花、銀水晶、 雪ロマン、立冬、 金水晶、夕映川 柳、新年の美										

表5 8月咲き品種の採花期と切花品質 (平成11年 フラワーセあおもり)

花色	品種名	切花長 (cm)	葉 数 (枚)	茎 径 (mm)	切花重 (g)	収 穫 期 盛 期
白	むさし	74.2	37.5	5.3	36.9	7月29日
	いそべ	73.3	33.4	5.5	45.2	8月9日
	よいこ	94.1	43.2	6.8	70.1	8月9日
黄	ななみ	67.5	28.6	5.3	36.0	7月29日
	まつかぜ	63.1	33.1	5.4	33.1	8月9日
	ほたる	58.0	33.4	5.0	37.5	7月29日
赤	えりか	59.8	40.3	5.5	37.6	7月29日
	かおり	96.3	41.3	6.5	54.7	8月12日
	赤トンボ(標準)	64.6	20.6	5.1	33.0	8月2日

耕種概要

- (1) 栽植様式：うね幅100cm、条間30cm、株間15cm 2条植え
- (2) 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
- (3) 挿 し 芽：4月13日
- (4) 仮 植：4月28日
- (5) 摘 心：4月30日 3本仕立て
- (6) 定 植：5月18日

(7)トンネル被覆：5月18～31日

表6 9月咲き品種の採花期と切花品質 (平成10年 フラワーセあおもり)

花色	品 種	切花長 (cm)	葉 数 (枚)	茎 径 (mm)	切花重 (g)	収穫期 (盛期)	白さび 病の発 生状況
白	大 空	90.2	33.1	5.5	52.6	9月11日	無
	つとむ	105.6	34.9	5.6	50.6	9月14日	無
	はやと	95.6	32.0	6.3	64.8	9月16日	無
黄	小 道	83.1	24.7	5.7	53.5	9月 9日	中
	かじか	108.2	48.1	5.8	61.0	9月21日	無
赤	祭 典	102.2	36.5	5.5	58.2	9月14日	無
	このみ	102.2	36.8	6.5	76.7	9月 2日	無
	花 車	97.0	24.6	5.5	59.8	9月 4日	無

※ 白さび病の発生状況は、達観調査による。

耕種概要

- (1)栽植様式：うね幅150cm、条間12cm、株間12cm 4条植え
- (2)施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
- (3)定植時期：5月27日
- (4)摘 心：6月11日 3本仕立て

表7 10月咲き品種の採花期と切花品質 (平成12年 フラワーセあおもり)

花色	品種名	切花長 (cm)	葉 数 (枚)	分枝数 (本)	分 枝 発生率 (%)	茎 径 (mm)	切花重 (g)	花房形	収穫期 (盛期)
白	たくま	47.7	22.4	10.9	49	3.9	28.2	BC	10/ 7
	初雪	97.3	40.1	9.4	23	5.8	73.8	BC	10/20
	はやぶさ	75.5	43.8	13.3	30	4.9	48.6	AE	10/21
黄	しのめ	68.3	35.4	19.0	54	4.4	51.4	AE	10/ 5
	つどい	53.6	23.5	15.4	66	4.2	39.9	AEB	10/ 1
	みのり	91.1	36.7	20.3	55	5.1	72.6	C	10/23
	おきな	87.3	39.4	11.6	29	5.5	63.8	AC	10/26
桃	たまえ	53.6	27.8	13.1	47	4.3	36.1	AEB	9/29
赤	映子	64.4	29.9	16.6	56	4.6	49.6	AE	9/29
	紅鳥	81.2	38.2	15.4	40	4.9	66.9	EB	10/23
	芳香(標準)	76.9	35.2	17.8	51	5.6	73.4	EB	10/10

※ 分枝発生率=分枝数/葉数

※ 花房形については、右図参照。

3) 耕種概要

- (1) 栽植様式：うね幅140cm、条間30cm、株間15cm 4条植え
 (2) 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
 (3) 挿し芽：6月5日
 (4) 定植：6月23日
 (5) 摘心：6月29日 3本仕立て

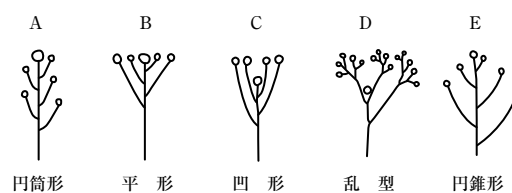


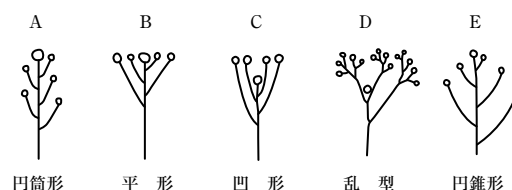
表8 寒小ギクの採花期と切花品質 (平成15年 フラワーセあおもり)

花色	品種名	切花長 (cm)	葉数 (枚)	分枝数 (本)	分枝発生率 (%)	茎径 (mm)	切花重 (g)	花房形	収穫期 (盛期)
白	雪月花	73.1	25.6	5.7	22	5.5	41.1	BC	12/3
	銀水晶	83.2	25.6	9.8	38	4.5	43.2	B	12/13
黄	立冬	87.6	27.8	9.1	33	5.7	51.4	A	12/1
	金水晶	50.4	26.8	6.9	26	5.4	38.1	B	12/4
桃	夕紗川柳	72.1	28.1	9.5	34	4.5	42.5	AB	11/28
赤	新年の美	70.5	25.6	8.6	34	5.5	46.5	C	12/9

※ 分枝発生率=分枝数/葉数
 ※ 花房形については、右図参照。

3) 耕種概要

- (1) 栽植様式：うね幅160cm、条間15cm、株間15cm 4条植え
 (2) 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
 (3) 定植：7月30日
 (4) 摘心：8月6日 2～3本仕立て



4 栽培

1) 育苗

(1) 苗床の準備

- ア 改良資材(kg/a) 堆肥：100kg
 イ 施肥(kg/a)
 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0
 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡

(2) 冬至芽の伏せ込み

- ア 冬至芽長さ 5～6cm
 イ 間隔 3×8cm、深さ2cm位とする。

(3) 挿し芽の準備

- ア 芽が動き出したら浅く摘心する。

(4) 挿し芽

- ア 展開葉2～3枚、長さ5～6cmとする。
 イ 挿し土 川砂

ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ 2 cm位

エ 温度管理 最低温度約10℃

2) 定植

(1) 定植ほ場の準備

ア 施肥基準 (成分量kg/a)

堆肥：200kg

窒素：りん酸：加里=0.8～1.0：0.4～0.5：0.8～1.0

イ 栽植様式

床幅50～60cm、通路50～60cm

条間30cm、株間15cm、2条植え、3本仕立て

3) 生育中の管理

(1) 摘心・仕立て

定植10日～14日後に摘心を行う。摘心20～30日後に3本に仕立て、生育にあわせてフラワーネットを引き上げる。

(2) エスレル処理

エスレル処理を行った場合、エスレル処理をしないものに比べて、1回処理で7日程度、2回処理で10日～14日程度開花が遅れる。

盆出荷用のエスレル処理は、7月下旬咲き品種を用い、5月10日頃の摘心時と、その後10日～20日間の期間の1、2回処理が効果的とされている（秋田県平成19年度試験研究成果）。

5 主要病害虫とその防除

輪ギクを参照する。

6 収穫・調製・出荷

2～3輪開花した時に行う。切り前は市場によって若干異なるので、出荷する市場の切り前を把握した上で収穫する。

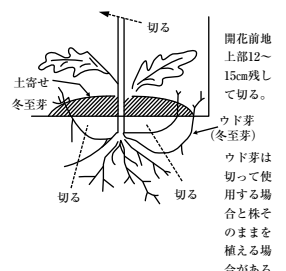
7 切り花後の管理

切り花終了後は追肥と土寄せを行う。

参考・引用文献

- 1) 青森県農業研究推進センター、「平成12年度指導奨励事項・指導参考資料」
- 2) 青森県農業研究推進センター、「平成13年度指導奨励事項・指導参考資料」
- 3) 青森県農業研究推進センター、「平成15年度指導奨励事項・指導参考資料」
- 4) 青森県農林水産部、主要作物の技術・経営指標（平成22年3月）
- 5) 青森県農林水産部農産園芸課、「平成19年度生産費調査結果報告書」
- 6) 日本花き取引コード普及促進協議会・社団法人日本花き卸売り市場協会・社団法人日本花普及センター、「2009年における花き品種別流通動向分析調査結果」
- 7) 秋田県農林水産技術センター 「平成19年度試験研究成果」

小ギク栽培ごよみ

月	旬	生育 状況	作 業	栽 培 の 要 点	摘 要																						
3	上	株 養 成	畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏せ込み 株 養 成	1 作型																							
	中			<table border="1"> <thead> <tr> <th>作 型</th> <th>品 種</th> <th>挿し芽</th> <th>定植</th> <th>摘心</th> <th>収 穫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏秋ギク露地旧盆 出し栽培</td> <td>むさし、よいこ、ななみ えりか、かおり</td> <td>4月 上旬</td> <td>4月 下旬</td> <td>4月 下旬</td> <td>7月下旬 8月上旬</td> </tr> <tr> <td>夏秋ギク露地秋彼 岸出し栽培</td> <td>つとむ、かじか、このみ 花車、祭典</td> <td>5月 上旬</td> <td>5月 下旬</td> <td>5月 下旬</td> <td>9月中旬 ～下旬</td> </tr> <tr> <td>秋ギク露地10月 出し栽培</td> <td>初雪、はやぶさ、 しのめ、みのり 映子、紅鳥、芳香</td> <td>6月 上旬</td> <td>6月 下旬</td> <td>6月 下旬</td> <td>10月上旬 ～下旬</td> </tr> </tbody> </table>		作 型	品 種	挿し芽	定植	摘心	収 穫	夏秋ギク露地旧盆 出し栽培	むさし、よいこ、ななみ えりか、かおり	4月 上旬	4月 下旬	4月 下旬	7月下旬 8月上旬	夏秋ギク露地秋彼 岸出し栽培	つとむ、かじか、このみ 花車、祭典	5月 上旬	5月 下旬	5月 下旬	9月中旬 ～下旬	秋ギク露地10月 出し栽培	初雪、はやぶさ、 しのめ、みのり 映子、紅鳥、芳香	6月 上旬	6月 下旬
作 型	品 種	挿し芽		定植		摘心	収 穫																				
夏秋ギク露地旧盆 出し栽培	むさし、よいこ、ななみ えりか、かおり	4月 上旬		4月 下旬		4月 下旬	7月下旬 8月上旬																				
夏秋ギク露地秋彼 岸出し栽培	つとむ、かじか、このみ 花車、祭典	5月 上旬		5月 下旬		5月 下旬	9月中旬 ～下旬																				
秋ギク露地10月 出し栽培	初雪、はやぶさ、 しのめ、みのり 映子、紅鳥、芳香	6月 上旬		6月 下旬		6月 下旬	10月上旬 ～下旬																				
4	上	育 苗		畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏せ込み 株 養 成		2 育 苗																					
	中					(1) 苗床の準備																					
5	上	定 植				畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏せ込み 株 養 成		ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg	 <p>開花前地 上部12～ 15cm残し て切る。 ウド芽は 切って使 用する場 合と株そ のままを 植える場 合がある。</p>																		
	中							イ 施肥 (kg/a)																			
6	上	生 育 期						畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏せ込み 株 養 成		室素：りん酸：加里＝0.5～1.0：0.5：0.5～1.0																	
	中									ウ aあたりの床面積：1.0～1.5㎡																	
7	上	開 花 期	畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏せ込み 株 養 成		(2) 冬至芽の伏せ込み																						
	中				ア 冬至芽長さ 5～6 cm																						
8	上	株 伏 せ 込 み			畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成							イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。															
	中											(3) 挿し芽の準備															
9	上	株 養 成										畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成		ア 芽が動き出したら浅く摘心する。													
	中													(4) 挿し芽													
10	上	株 養 成		畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成			ア 展開葉2～3枚、長さ5～6cmとする。																				
	中						イ 挿し土 川砂																				
11	上	株 養 成				畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成	ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位																				
	中						エ 温度管理 最低温度約10℃																				
12	上	株 養 成					畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成	3 定植																			
	中							(1) 定植ほ場の準備																			
1	上	株 養 成	畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成					ア 施肥基準 (成分量 kg/a)																			
	中							堆肥：200 kg																			
2	上	株 養 成			畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成			室素：りん酸：加里＝0.8～1.0：0.4～0.5：0.8～1.0																			
	中							イ 栽植様式																			
3	上	株 養 成						畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成				床幅50～60cm、通路50～60cm															
	中											条間30cm、株間15cm、2条植え3本仕立て															
4	上	株 養 成		畑準備 挿し芽 定植 摘心 生育期 切花 株 伏 せ 込 み 株 養 成								4 収穫 2～3輪開花したときに行う。															
	中											5 株養成 切花終了後は追肥と土寄せをしておく。															